

正誤表

『放射線治療 基礎知識図解ノート』第1版第1刷（2016年3月10日），第1版第2刷（2017年1月20日）に誤りがございました。下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

2017年3月23日

金原出版株式会社

頁	訂正箇所	誤	正
16	表の耐容線量	腸管 ■ 50-65 脊髄 ■ 50-70 皮膚 55-60 ■ 咽頭粘膜 60-75 ■ 脊髄 ■ 80-85 大血管 80-100 ■	腸管 ■ 50-65 (1/3 or 1/2) 脊髄 ■ 50-70 (5 or 10 cm) 皮膚 50-60 ■ (100 cm ²) 咽頭粘膜 50-75 ■ (50 cm ²) 脊髄 ■ 80-85 (2/3) 大血管 80-100 (10 cm ²) ■
106	5行目	光子線および <u>10 MeV を超える</u> 電子線の線量計測で使用できる。	光子線および $R_{50} \geq 4 \text{ g/cm}^2$ ($E_0 \geq 10 \text{ MeV}$) の電子線の線量計測で使用できる。
106	最下行	<u>10 MeV 以下</u> の電子線の線量計測に必須である。	$R_{50} < 4 \text{ g/cm}^2$ ($E_0 \leq 10 \text{ MeV}$) の電子線の線量計測に必須である。
124	図:線量プロファイル	平坦度領域	平坦化領域
129	例題 2	SAD セットアップ, 照射野サイズ 10 cm×10 cm で 100 MU 照射した時の基準深吸収線量は <u>1.020</u> , 照射野サイズ 20 cm×20 cm に変更して 100 MU 照射した時の基準深吸収線量は <u>0.980</u> だった。	SAD セットアップ, 照射野サイズ 10 cm×10 cm で 100 MU 照射した時の基準深吸収線量は 0.980 , 照射野サイズ 20 cm×20 cm に変更して 100 MU 照射した時の基準深吸収線量は 1.020 だった。
137	例題 2 解説	$\frac{0.980}{1.020}$ =0.961	$\frac{1.020}{0.980}$ =1.041
153	全体	呼吸性移動自体を縮小する方法	呼吸を抑制する方法
153	全体	照射野を縮小する方法	呼吸に同期する方法
154	1行目	呼吸同期照射	呼吸同期法
195	4行目	線量は距離の逆二乗則に従い急激に減衰するため,	空気カーマ率が距離の逆二乗則に従い急激に減衰するため,

頁	訂正箇所	誤	正
204	^{60}Co の壊変図	<p>▲ ^{60}Co の壊変図</p> <p>2824 keV ^{60}Co 半減期5.27y 99.88% 0.12% β^- 1173 keV γ 1333 keV γ ^{60}Ni</p>	<p>▲ ^{60}Co の壊変図</p> <p>半減期5.27y ^{60}Co 99.88% 0.12% β^- 1173 keV γ 1333 keV γ ^{60}Ni 2505.8 keV</p>
243	6 行目	“ <u>格</u> 子あたりのエネルギー”	“ <u>核</u> 子あたりのエネルギー”
258	中性子の分類表	$0.5 \text{ eV} \leq E < 100 \text{ keV}$	$0.5 \text{ eV} \leq E < 10 \text{ keV}$
258	中性子の分類表	エネルギーの下限値は明確ではないが、約 <u>100keV</u> 以上のもの。	10keV 以上のもの。

以上

正誤表

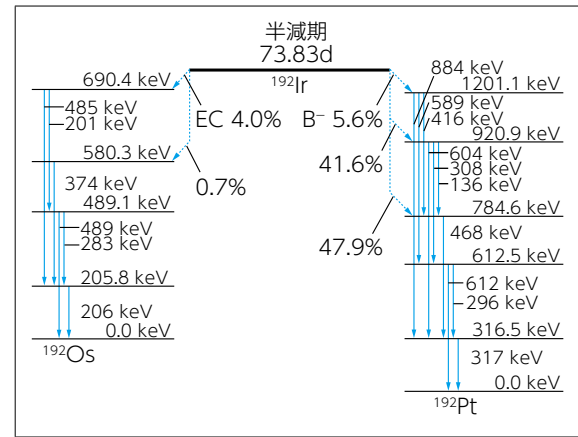
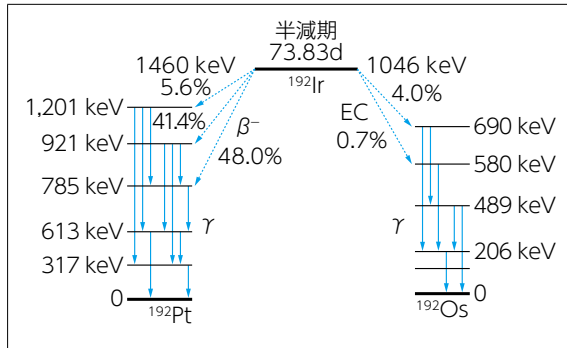
『放射線治療 基礎知識図解ノート』第1版第1刷（2016年3月10日）に誤りがございました。下記のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

2016年8月1日

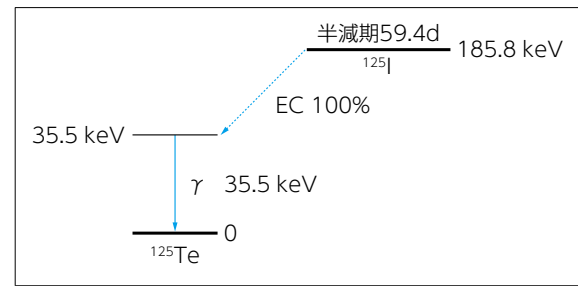
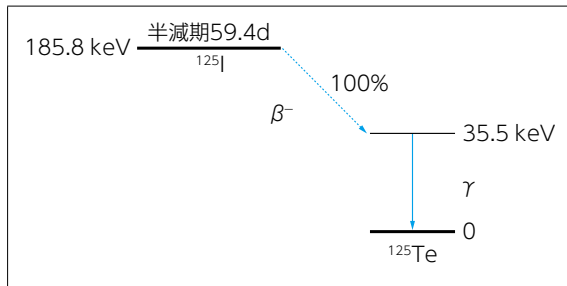
金原出版株式会社

頁	誤	正
135 頁 上図図中	$DMU = \frac{D_r(d_r, A)}{N}$ (通常は 1.0 cGy/MU)	$DMU = \frac{D_r(d_r, A = 10\text{cm} \times 10\text{cm})}{N}$ (通常は 1.0 cGy/MU)
135 頁 上図説明文	<ul style="list-style-type: none"> ● 基準照射野における基準深での水吸収線量 ($D_r(d_r, A)$) を MU 値 (N) で除した値を DMU (dose monitor unit) と呼び、通常は $DMU = 1 \text{ cGy/MU}$ とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 基準照射野 ($10 \text{ cm} \times 10 \text{ cm}$) における基準深での基準深吸収線量 ($D_r(d_r, A = 10 \text{ cm} \times 10 \text{ cm})$) を MU 値 ($N$) で除した値を DMU (dose monitor unit) と呼び、通常は $DMU = 1 \text{ cGy/MU}$ とする。
135 頁 下図図中	$MU = \frac{D_r(d_r, A)}{DMU}$	$MU = \frac{D_r(d_r, A = 10\text{cm} \times 10\text{cm})}{DMU}$
135 頁 下図説明文	<ul style="list-style-type: none"> ● 任意 (深さ $d \text{ cm}$, 照射野 $A \text{ cm} \times A \text{ cm}$) の条件下における計画線量を $D(d, A)$ とした場合の MU 値は、基準深吸収線量 ($D_r(d_r, A)$) から算出する。 ● 上記の条件における基準深吸収線量 ($D_r(d_r, A)$) は、 $D_r(d_r, A) = \frac{D(d, A)}{TMR \cdot OPF \cdot \text{other factor}}$ で求められる。 ● 上記で求めた基準深吸収線量 ($D_r(d_r, A)$) を DMU で除することで MU 値を算出する。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 任意 (深さ $d \text{ cm}$, 照射野 $A \text{ cm} \times A \text{ cm}$) の条件下における計画線量を $D(d, A)$ とした場合の MU 値は、基準深吸収線量 ($D_r(d_r, A = 10 \text{ cm} \times 10 \text{ cm})$) から算出する。 ● 上記の条件における基準深吸収線量 ($D_r(d_r, A = 10 \text{ cm} \times 10 \text{ cm})$) は、 $D_r(d_r, A) = \frac{D(d, A = 10 \text{ cm} \times 10 \text{ cm})}{TMR \cdot OPF \cdot \text{other factor}}$ で求められる。 ● 上記で求めた基準深吸収線量 ($D_r(d_r, A = 10 \text{ cm} \times 10 \text{ cm})$) を DMU で除することで MU 値を算出する。

204 頁
¹⁹²Ir の壊変図
 (全体的に修正)



205 頁
¹²⁵I の壊変図
 (全体的に修正)



206 頁
¹⁹⁸Au の壊変図

